

たはむれに
(石川啄木)

たはむれに 母^{はは}を 背^せ負^おいて その あまり

解説 母をふざけておぶってみたら、あまりにも軽いので悲しくなったという心の動きを詠った詩。

語釈 ※たわむれに||冗談半分に。※軽きに||あまりにも軽い。

軽^{かろ}きに 泣^なきて 三^{さん}步^ぽ あゆまず

通釈 通釈 冗談半分に母を背中におぶってみて、あまりの軽さに母の衰えを感じ三歩と歩くことが出来なかった。